

鳥獣被害対策 地域リーダー育成研修会（事例紹介）

イノシシによる被害防止対策の総合的な取組



- 1 集落環境管理
- 2 被害防除
- 3 捕獲

氷見市鳥獣被害防止対策協議会 資料



人口: 47,904人 (17,597世帯)
 高齢化率: 36.0%
 面積: 230.6km²
 森林面積: 134.8km²
 竹林面積: 6.67km²



イノシシ被害の状況（農作物被害）



水田の被害（食害、踏み荒らし）

稲穂を食べるイノシシ



提供 富山県高岡農林振興センター

イノシシ被害の状況（農作物被害）



ハトムギ 被害



さつまいも畑 被害

イノシシ被害の状況（土木被害）



畦の掘起し

イノシシ被害の状況（土木被害）



耕作放棄田法面 掘起し



道路法面 掘起し

イノシシ被害の状況（土木被害）



ため池法面 掘起し

イノシシ被害の状況（土木被害）

平成29年4月7日 撮影



道路法面掘起し



食痕（葛の根）

イノシシ被害の状況（市有施設内掘起し）



市営墓地



旧 一般廃棄物処理施設敷地内

イノシシ被害の状況（交通事故）



市内国道415号線



能越自動車道（県境付近）

イノシシ被害の状況（交通事故）



市内道路（生きた個体の処理）

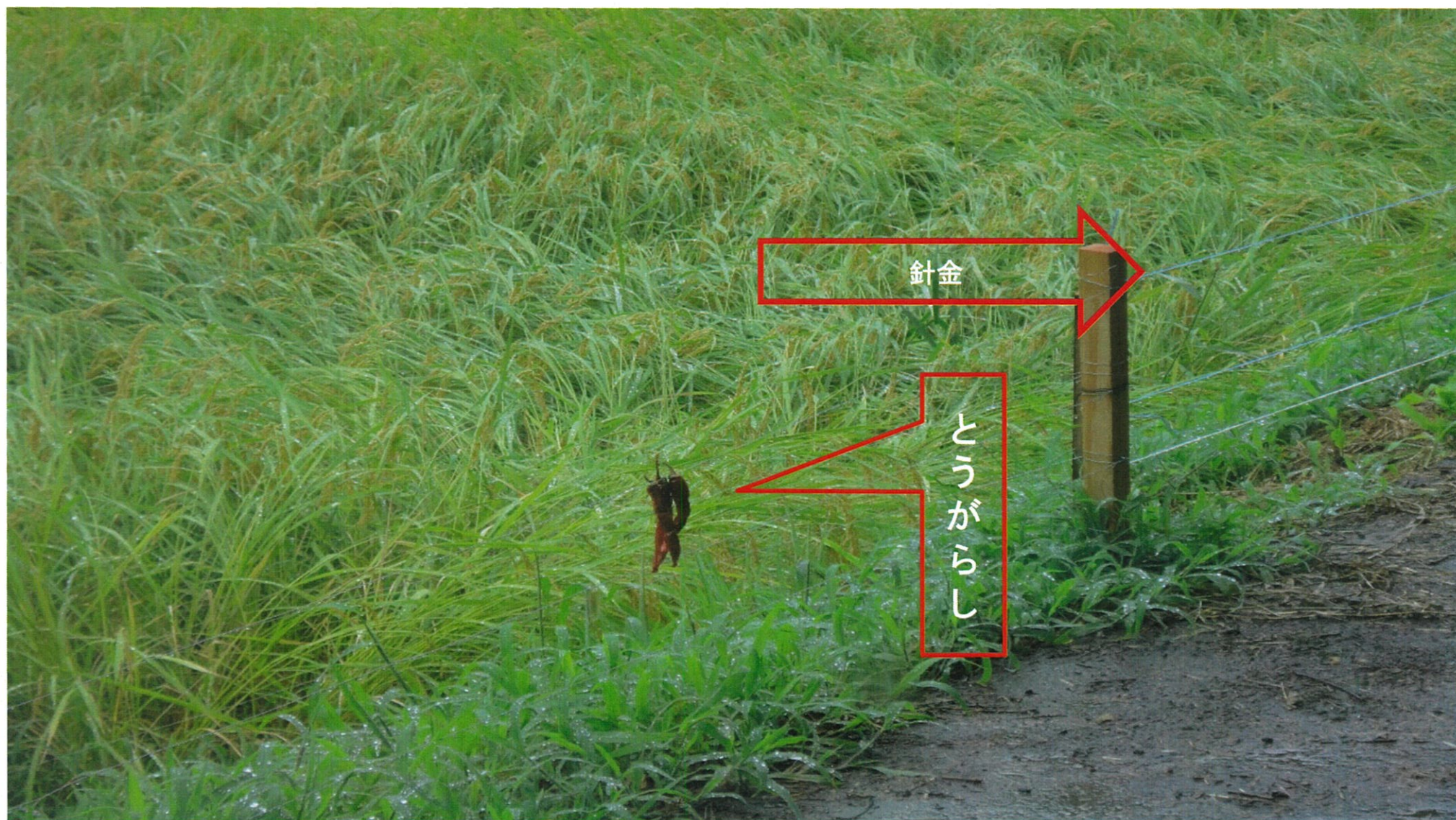
5年間携わって感じたこと

- ◎現地で被害農家さんの顔を見て話を聞く大切さ。（現場を知る）
- ◎誤ったイノシシの情報が氾濫。（イノシシより人の対策）
- ◎最初は、誰も正しい知識は持っていない。
- ◎交付金採択を待っていたら被害に遭ってしまう。（市単補助）
- ◎イノシシの正しい情報収集と対策の学習が必要。
- ◎正しい情報をいかに伝え、正しく対策させるか。（情報発信）
- ◎いくら捕獲しても、増える環境を残したままでは、増え続ける。
未来永劫捕獲を続けるのか？捕獲が持続可能な対策か？疑問
- ◎集落環境管理と被害防除の徹底で棲み分けに重点を置く。
イノシシの餌場にならない、寄り付かない集落を作る。

情報発信の大切さ

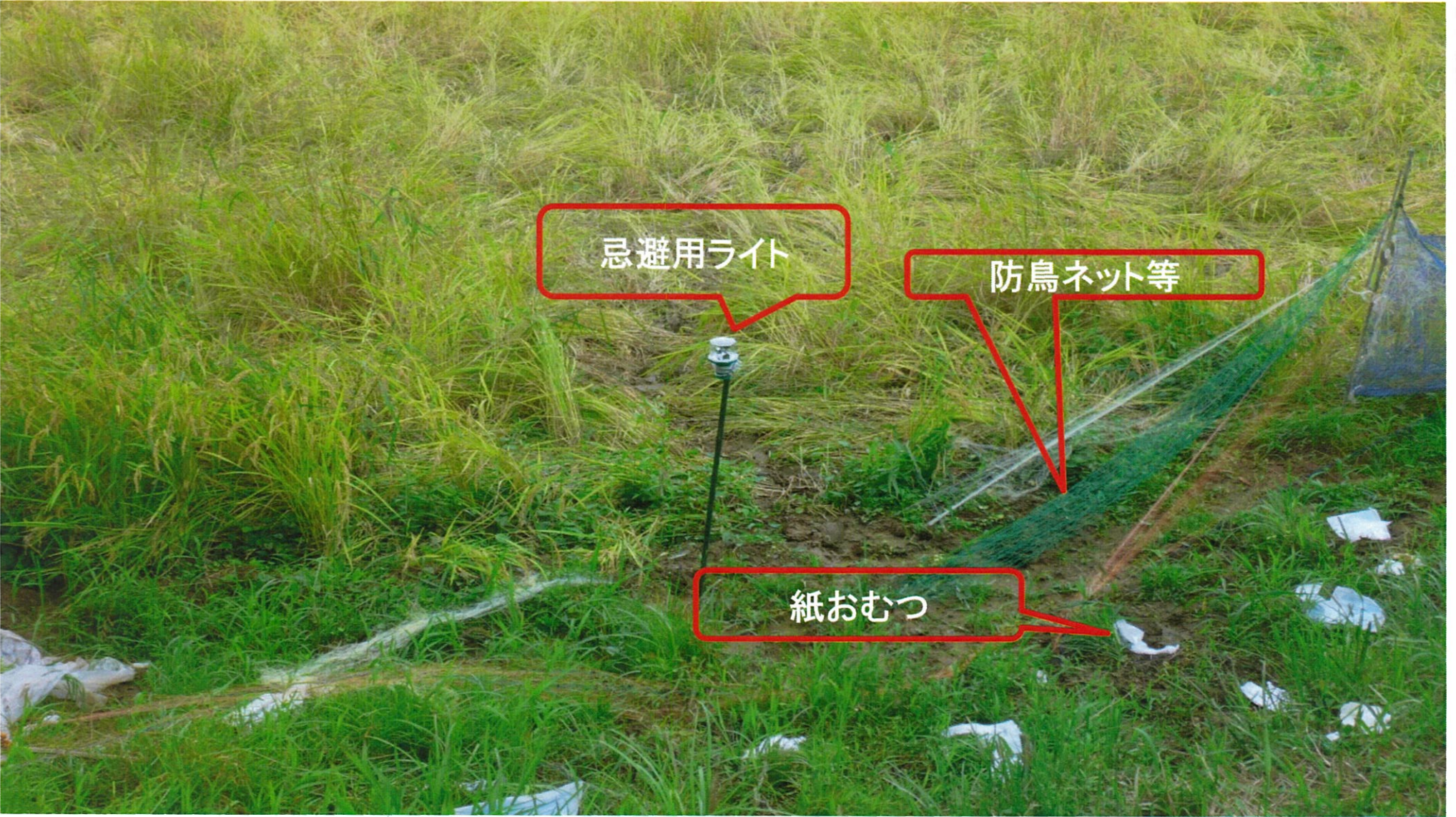
誤った情報による対策例

誤った対策に効果なし



針金

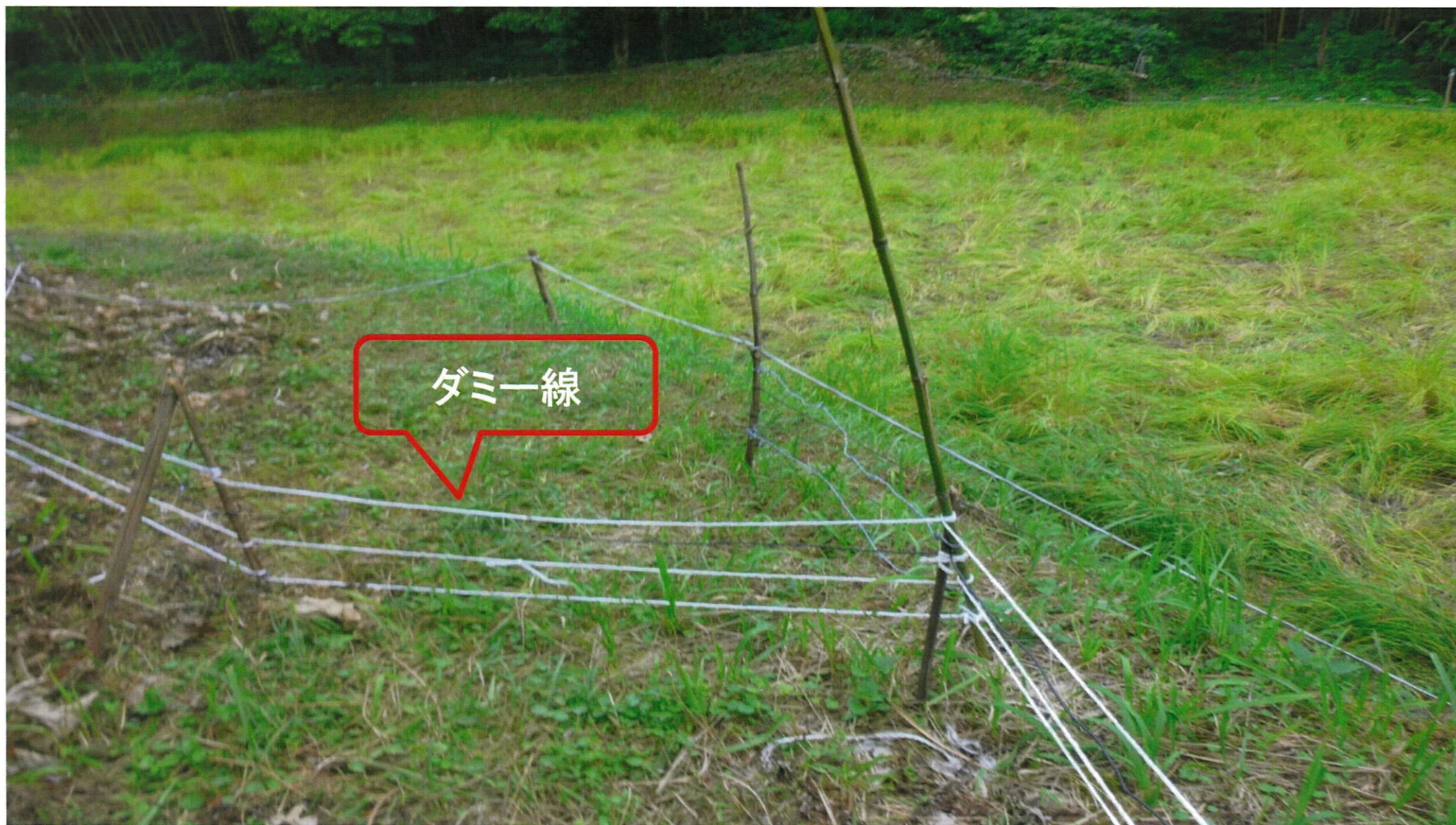
とうがらし



忌避用ライト

防鳥ネット等

紙おむつ



ダミー線

農作物被害防止研修会

平成26年度～継続

- ・ イノシシを正しく知る
- ・ 対策の順序を間違わない

1 番目 集落環境管理

2 番目 被害防除

3 番目 加害固体の捕獲

講師 西日本農業研究センター
江口 祐輔 先生



「野生動物との共生」講演会



小学生と父兄を対象とした講演会

子供達に**野生動物の**
行動について正しい
知識を持ってもらう

平成28年2月2日
市立久目小学校

平成28年7月7日
市立十二町小学校

講師 江口 祐輔 先生

女性農業者を対象にイノシシ研修

平成29年2月1日

女性の情報発信力はすばらしい！



農家のお母さん達は元気
直売所で野菜の販売や
家庭菜園で栽培を頑張っている
正しいイノシシ対策で畑を守ったら
市内のお母さん達に
正しい対策の情報を広げてくれる！

講師

西日本農業研究センター

江口 祐輔 先生

野生動物被害防止対策連携会議の開催

平成29年度

庁内関連部局を対象

第1回(8月9日)

- ・情報共有
- ・現状把握
- ・各部局で予算付け

第2回(12月22日)
野生動物の行動特性
研修会

講師 江口 祐輔 先生



市広報誌で鳥獣被害対策記事を1年間連載

平成28年度



地域住民が、正しい情報に基づき考えて行う対策こそ、効果的な対策となる

執筆 西日本農業研究センター 堂山 宗一郎 先生

専門講師による集落点検・現地指導

平成26年度～継続



講師 西日本農業研究センター 江口 祐輔 先生
堂山 宗一郎 先生

適正に設置されていない電気柵

せっきくの電気柵も適正な設置
管理がされていないと効果なし



なぜ下段の電線が？

水路対策が重要



侵入防止柵は、囲って初めて有効となる



電気柵設置講習会

イノシシの目線で設置することが大切と強調！



適正な設置指導



講師 福井県鯖江市 河和田東部美しい山里の会 服部 義和 先生

農協営農指導員の電気柵設置・管理研修会

地元農家さんに密着しているのは営農指導員！正しい知識が大切なので勉強会を開催。



講師 福井県鯖江市 河和田東部美しい山里の会 事務局長 服部 義和 先生

電気柵設置講習会の開催

平成30年3月5日 開催



主な内容

集落ぐるみの活動

工サの管理

イノシシを正しく管理

電気柵はイノシシ管理
の道具

棲み分け

など

講師

福井県鯖江市

河和田東部美しい山里の会

事務局長 服部 義和 先生

人間が野生動物に餌を与えている

これでは、あるべき自然死は望めない
もちろん棲み分けなどできる訳がない



人間が管理しなくなった放任果樹(柿)

野生動物の食痕



被害対策をとらなかったら
放任果樹と同じ
人間がイノシシに餌を与えている





イノシシの食痕
鬼皮を残し、きれいに食べてある
堅果類は栄養豊富
野生動物の貴重な栄養源

虫食いは食べていない。イノシシはグルメ？

人間がサツマイモの選別クズを大量投棄
人間が餌場を提供し、餌付けしている



人間が摘果クズを不適正処理
人間が果樹園の横を野生動物の餌場に



人間が竹林を管理しなくなりました
筍は餌の少ないときの貴重な栄養源



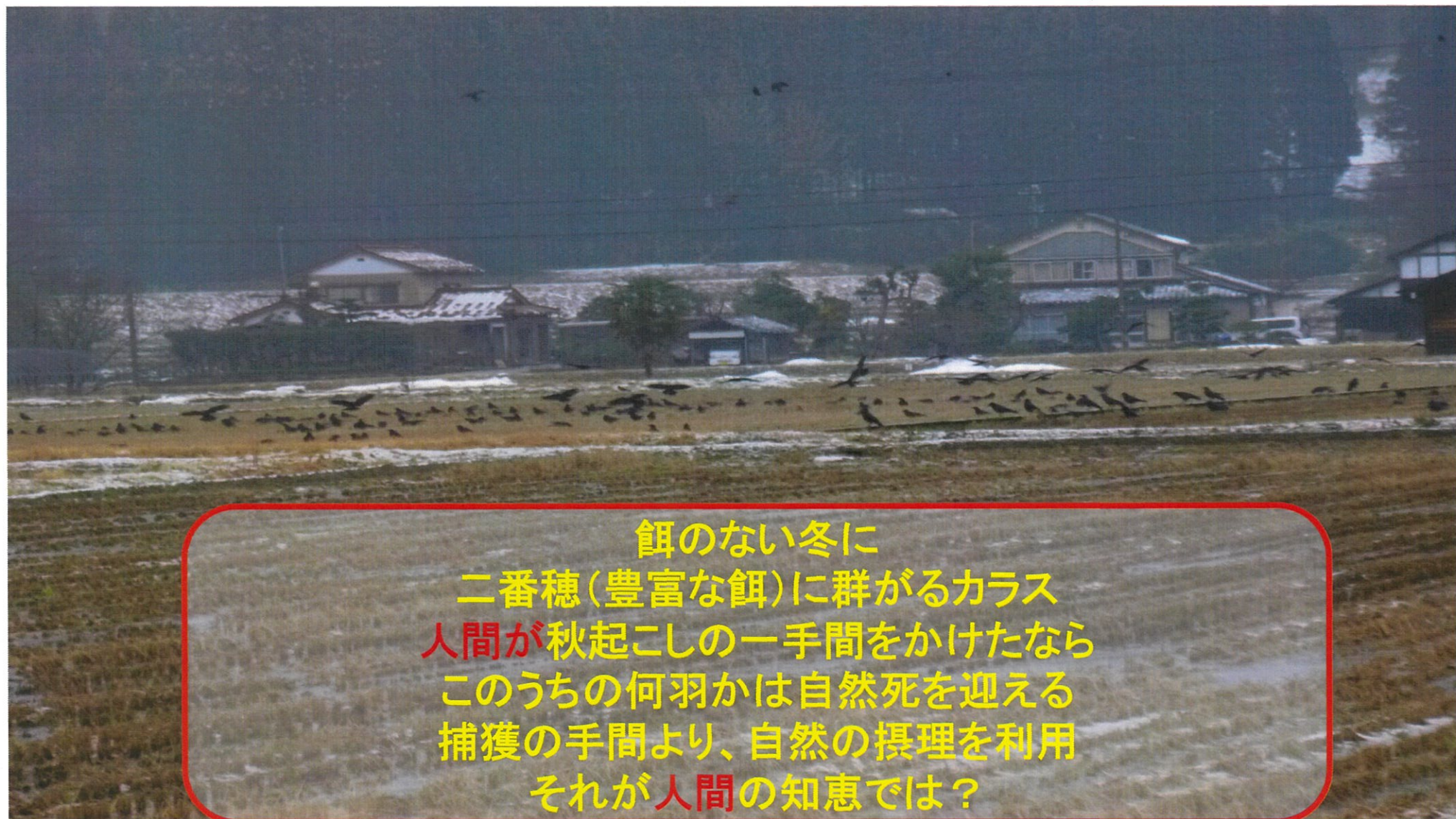
刈り取り後の電気柵管理と秋起こしが必要



落穂を食べるイノシシ達



雪解け近くの餌のない時期
二番穂(餌)があれば、大助かり
人間が秋起こしの一手間をかけたなら
このイノシシは自然死を迎えるかも



餌のない冬に
二番穂(豊富な餌)に群がるカラス
人間が秋起こしの一手間をかけたなら
このうちの何羽かは自然死を迎える
捕獲の手間より、自然の摂理を利用
それが人間の知恵では？

集落環境管理 放置竹林が棲家となり、このタケノコがエサとなる
除草剤による竹枯殺実証実験 平成26年度～



実証実験による竹林の状況（竹林内は明るくなり、タケノコは発生しない）

集落環境管理 (坪池集落)
放任果樹 (柿) の伐採

平成28年度～



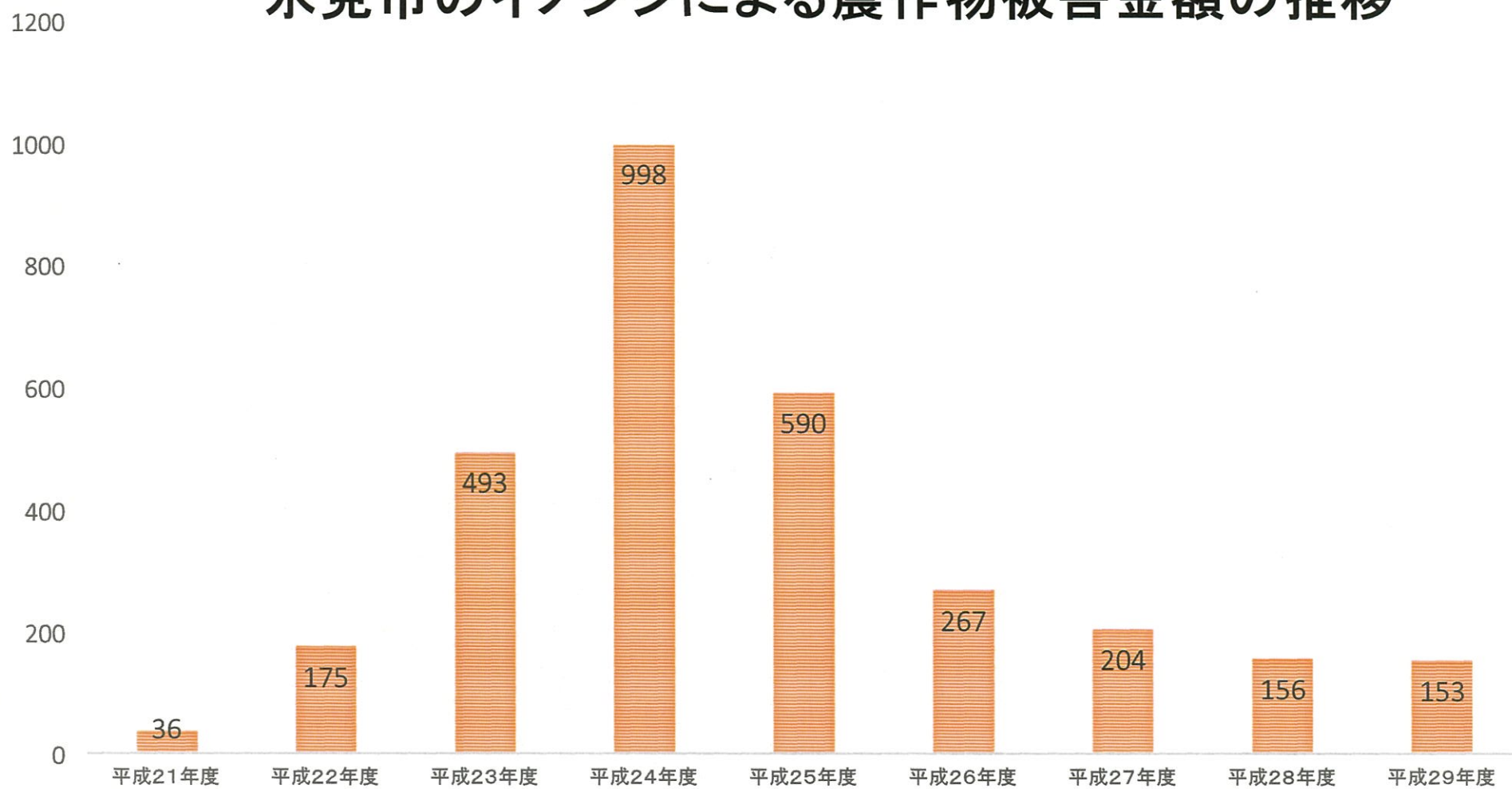
放任果樹 (柿) 伐採前



伐採作業中

単位:万円
1200

氷見市のイノシシによる農作物被害金額の推移



有害捕獲の問題点

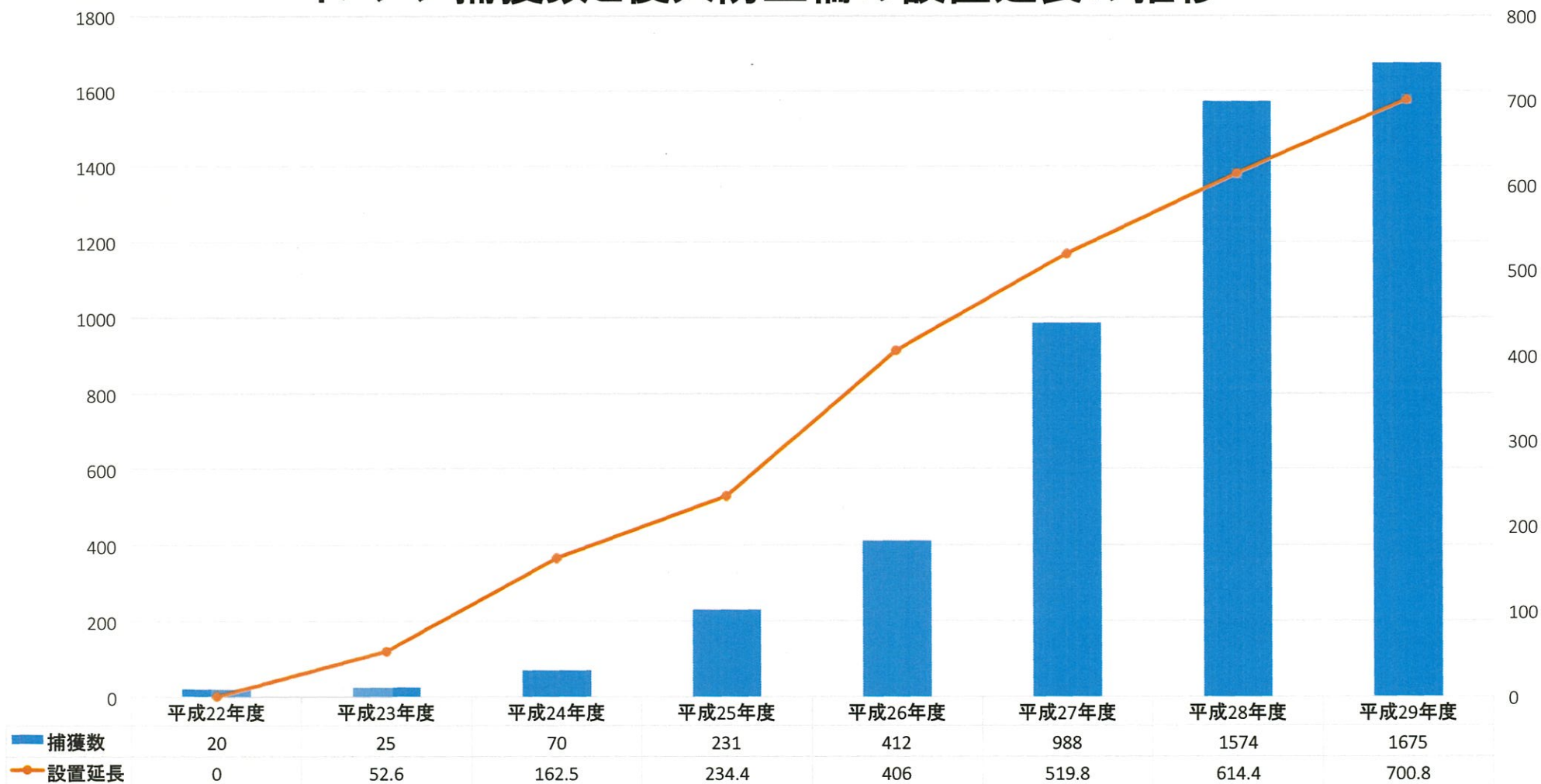


加害イノシシを捕獲したいなら被害防除の徹底をしたらよい。

イノシシ捕獲数と侵入防止柵の設置延長の推移

捕獲数 単位:頭

設置延長 単位:Km





加害個体を効率的に捕獲したいなら

安全、安心で、かつ美味しいエサを与えないよう防除しなくては捕獲できない。

集落環境管理・被害防除の徹底が加害個体捕獲の近道！

イノシシの食害に遭った圃場

定点カメラで撮影

提供 富山県高岡農林振興センター



29.79 inHg - 28℃) 09/09/2013 03:13AM MYCAMERA

圃場に集まるイノシシ達（8頭）

定点カメラで撮影



- ・ 捕獲の瞬間！ ^ ^
- ・ 捕獲はできたが... ^ ^ ;
- ・ 捕り逃がしが問題 > <



檻の様子をうかがうイノシシの家族達
檻の危険を学習させてしまった...



MOULTRIE



10℃



10/27/2014 08:40PM MOULTRIECAM

見失った目的

我々の目的は何ですか？

農作物被害防止（収穫） です！

ところが…

- ・ 捕獲（お金）を目的とした人が増えている

⇒ 目的が賞金稼ぎになっている

⇒ 全国の一部で捕獲支援金の不正受給が発覚

⇒ 不正受給のせいで担当職員の負担増

担当職員の捕獲立会い写真



農水省は、この**証拠写真**を求めている？これが**成果**？
担当職員は、一日中立会いのため山を駆け巡る…
これがいつまで続く？ **持続可能**？ **不可能**です！

捕獲後の課題は個体の適正処分

氷見市における 有害捕獲個体の主な処分方法

- 一般廃棄物として焼却処分

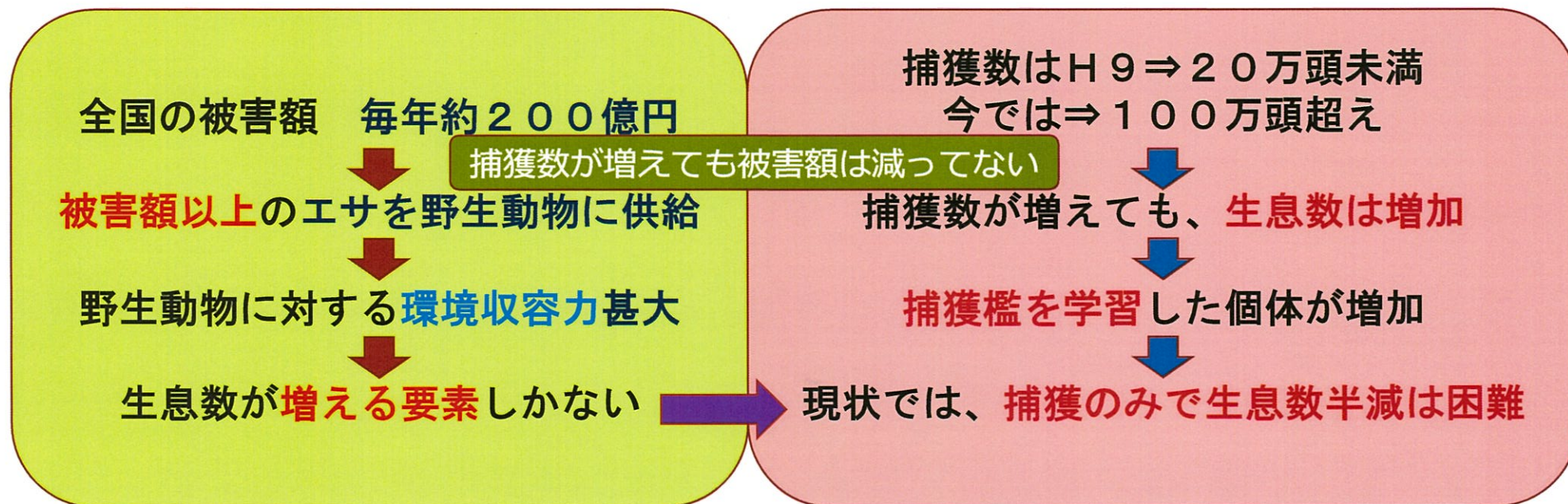
- 自家消費

捕獲者による自家消費

- 獣肉処理施設へ引き渡し

石川県羽咋市獣肉処理施設が、現地で生体確認して引き取る

農水省・環境省では・・・ 捕獲目標を 10年後までにイノシシ・シカの生息数半減に



生息数を減らしたいなら
エサと安全な棲家をなくし、環境収容力を減らすしか方法はない

イノシシとの戦(いくさ)に負けないために

「イノシシを知る」⇒ 彼を知り己を知れば百戦殆からず
「集落環境管理と被害防除の徹底」⇒ 棲み分けを図る

食べ物を減らす⇒兵糧攻め

- ・農作物を取らせない(人間が怒るエサ)被害防除の徹底
- ・人間にとって不要なものも与えない(人間が怒らないエサ)
放任果樹や収穫残渣などエサになるものを適正に処理、処分、管理

身を隠せる場所をなくす⇒棲家を危険な環境にする

- ・農地・集落から藪・茂みを離す(耕作放棄地や周辺の刈り払い)
- ・里山の整備(特に林縁部)

総合的な被害対策は

- 1 番目 集落環境管理
 - 2 番目 被害防除
- 
- 棲み分け

3 番目 捕獲

- ・ それでも被害を及ぼしに来る加害個体は捕獲する
- ・ 捕獲では、被害は防げないので、捕獲に頼らない

地域リーダーの育成（地域ぐるみの対策推進）

地域で誰がやる？

- ・ **他人事**になっているので**誰もやらない**！
自分がやらなくても誰かがやってくれるだろう
自分は非農家なので関係ない 自分だけよければよい 等々
- ・ 被害防止対策をやらなければ、**イノシシに負け続ける**だけ！
- ・ **住民自ら自分事**としてやるしかない！
- ・ 被害防止対策の**牽引役**として、**地域リーダー**が必要である！

重要な事は 対策の順序を間違わず**棲み分け**を図る

◎地域住民みんなが、**他人事**でなく**自分事**として取り組む

◎正しい情報で、地域に応じた対策を考え**継続**して行う

先ずは、地域内を正しい情報で意思統一（合意形成）

地域づくりのためにも地域リーダーの育成が必要である。

- 地域には、住民をまとめる人材が必ずいる。

（適材適所のリーダー候補者）

- リーダーをひとりぼっちにしない体制作り。（地域コミュニティの再生）

・ひとりで寂しく苦勞させられるならやらない ⇒ 候補者不在となる。

- 話し合いを通じてみんなで取り組む。（地域コミュニティの再生）

・三人寄れば文殊の知恵 ⇒ 地域のいろいろな困りごとが洗い出される。

- 獣害対策リーダーができたなら他の事に取り組むリーダーもできる。

（地域の困りごと解決に意欲的に）

- 国、県、市も一緒に汗をかく覚悟で臨むことで、住民を動かす。

地域づくりのバロメーターは獣害対策(安田 亮 氏)

イノシシ対策事業の事前打合せ(論田集落)



集落リーダーの存在が重要

論田集落では、区長を中心に

- ・イノシシ対策担当
- ・中山間地域直接支払事業担当
- ・多面的機能支払事業担当

など

それぞれ集落内の事業について業務を分担しながら協力体制を整えている。(集落ぐるみ)

これにより、**集落内の話し合い**がよく持たれるようになり、**地域コミュニティの再生**に繋がっている。

補助金を活用した**集落ぐるみ**による侵入防止柵の設置

論田集落の取組

- 
- ・市単侵入防止柵設置補助金
 - ・中山間地直接支払交付金
 - ・多面的機能支払交付金
 - ・農業共済組合獣害対策補助金
- ～などを活用して設置

集落住民(主に**女性**)を対象に研修会 (論田集落)

平成29年12月21日 開催



どこの集落でも**女性**は、家庭菜園などで元気に野菜などを作っています。
集落リーダーが、**女性**にも正しいイノシシ対策を学んでもらいたいと提案。
多くの**女性**が研修会に参加しました。
女性は、得た知識をいろんな人に広げてくれます。

講師 江口 祐輔 先生

獣害対策の集落リーダーは人気者(論田集落)



公民館内でお母さんたちが集い、楽しくお茶を飲みながら過せる茶論 (さろん)



ご清聴
ありがとうございました。

氷見市企画政策部
防災・危機管理監 茶木 隆之